

第50号



# 市P連だより

尾道市PTA連合会

令和3年3月発行

【事務局】〒722-0043

広島県尾道市東久保町20番14号

おのみち生涯学習センター内

TEL (0848) 37-7353

FAX (0848) 37-7354

E-mail:jimukyoku@onomichi-pta.net

## 卒業生の皆さんへ



尾道市PTA連合会  
会長 明上 浩之

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業式という記念の日を無事迎えられたことに、色々な意味で感謝ですね。小学生が六年間、中学生は三年間という長いようで短かった学校生活でしたが、皆さんはどう感じているでしょうか。

多くの友達や先生、地域の方々に会えることができ、また、多くの事を学んだ日々だったと思います。

特に、この一年間は新型コロナウイルスにより、皆さんの生活が一変してしまい、一番やりたかったことも叶わず、悔しい思いをしている人が多いと思います。みなと祭り、運動会や社会見学、学習発表会や修学旅行など、やりたかった事は沢山あった事でしょう。

しかし、この現実を受け止めて前を向いていくしかないのです。今、こうしている間も、医療現場で働く方々や研究者の方々は、新型コロナウイルスと戦って下さっていることを忘れないで下さい。だから、皆さん、夢や希望をもって何事にも諦めず、これからも頑張ってくださいね。

## 卒業という別れは、新たな出会いへとつながる一歩です。そして、これから先、多くの出会いが皆さんには待っています。楽しいことばかりでなく、辛いことなど色々なことが起こるでしょう。しかし、皆さんは、この新型コロナウイルスの状況でも頑張ったのだから、自信をもって前に歩いて行ってください。陰ながら応援しています。

さて、遅くなりましたが、保護者の皆様、本日はお子様のご卒業誠にありがとうございます。心よりお喜び申し上げます。同じ卒業生を持つ親として感慨深く、様々なご苦労があったことと思います。特にこの一年は本当にお疲れさまでした。

尾道市PTA連合会は単P同様に、子ども達の健やかで健全な学校生活を応援することに加え、保護者と教職員、関係官庁との連携と交流、教育環境の向上を図ることを目的としておりましたが、この一年間は思うように進まず、皆様に心配をお掛けしました事に對し、お詫び申し上げますとともに、改めて、当会の活動にご理解とご協力を賜りましたことに感謝し、厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

最後になりましたが、未来ある卒業生の皆さんの今後益々のご活躍をお祈りして、贈る言葉とさせていただきます。

ご卒業おめでとう  
ご卒業おめでとう  
ご卒業おめでとう



## 卒業生へのメッセージ



尾道市教育委員会  
教育長 佐藤 昌弘

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、お子様のご卒業、本当におめでとう申し上げます。

また、今日まで卒業生を熱心に指導してこられた先生方、学習支援や登下校の見守り等で、卒業生を支えてくださった地域の方々をはじめ、関係者の皆様にこの機会をお借りし、厚くお礼申し上げます。

卒業生の皆さんが過ごした学校での生活を振り返るといろいろな思い出がよみがえってくるのではないのでしょうか。楽しい行事に心が弾む日もあれば、いやな出来事に登校する足取りが重いこともあったでしょう。とりわけ、この一年は新型コロナウイルス感染症の影響で皆さんの日々の生活が大きく制限されることになりました。休校で友達に会えない日が続いたり、学校行事が変更されたりしました。日常生活や学校生活では、新たな生活様式が求められました。私たちは、こうした状況の中で、命の大切さや他人を思いやる心、また、環境の変化に対応する力の重要性を改めて感じました。

皆さんは、勉強やスポーツなど、それぞれの目標に向かって、一生懸命に努力を重ねてきたのではないのでしょうか。皆さんの努力や経験は決して無駄にはならない、そして「明けない夜はない」ということを信じて、これからも支えあい、協力しあつて次のステージに進んでいってほしいと思います。

人は一人では生きていきません。お互いに支え合うことよって生きていけるのです。人とのつながりは大きな財産です。こうして無事卒業の日を迎えられたのは、皆さんのことをいろいろな場面でいつも見守り、大切に思ってくれている人、家族や先生方、友達、たくさんの地域の方々のおかげです。

皆さんは、四月になると、次のステージへ進むこととなります。新生活には不安なこともあるかもしれませんが、友達や先生との新たな出会いという楽しみも待っています。将来に向かって自分自身の可能性を信じて、夢を持ち、志高くたゆまぬ努力をしてください。たとえ自分の思いどおりの結果にならなくても、精一杯チャレンジ努力したことは、新たな道を進むための大きな力となってくれるでしょう。

尾道は、自然に恵まれ、歴史文化の香る素晴らしいまちです。この故郷尾道で生まれ育ったことを誇りに持ちながら、これから始まる新しい未来に、大きな夢と志を抱いて、大きく羽ばたいていってくださることを心から祈っています。

## 要望書の提出

去る令和二年八月十七日、明上会長以下、副会長4人が市役所を訪れ、尾道市内公立小中学校の教育環境の更なる改善を求めて、尾道市長、尾道市議長、尾道市教育委員会教育長に要望書を提出しました。

要望書の骨子は以下の3点。

### 【要望事項】

- ・特別教室ならびに体育館へのエアコン整備
  - ・学校施設の老朽化に伴う現状の調査と計画的な整備
  - ・学校内のICT環境の整備について
- 要望書を受け取った尾道市長は、難しい部分もあるとしながらも、小中学生全員へのタブレット配布など、引き続き教育環境整備への可能な限りの取組みをするとの内容を答えられました。尾道市PTA連合会としては、「地域愛溢れる、人間性豊かな尾道っ子」を育成するために、引き続き教育環境の充実を求めて、行政に整備を要望していきます。



## STOPコロナ差別 「シトラスリボン」配布

去る令和2年12月に、市内全市立小中学校の児童生徒全員に向けて、シトラスリボン制作キット約1万個を配布いたしました。

尾道市PTA連合会では、愛媛県の市民運動として始まったコロナ差別防止の運動に賛同し、シトラスリボン運営本部の了承を得て「シトラスリボンプロジェクト in おのみち」を立ち上げました。

コロナ感染後学校に戻った当事者、または医療従事者の家族にあたる子ども達が、不当な差別を受けることがないような雰囲気醸成しようという取り組みです。シトラスリボンが、友達やまわりの大人とこの問題を考えるきっかけとなり、道徳心が育つ糧となれば幸いです。

尾道さつき作業所さんに協力していただき、1万個のキットを制作、12月21日までに市内全市立小中学校に配布しました。各校それぞれ総合的な学習などに活用されたとの声もあり、市P連としてはこれからもフットワーク軽く様々な取り組みを推し進めてまいります。



## 編集 後記

令和2年度はコロナウイルスに振り回された一年となりました。

市P連主催の、集合して行うような事業が何もできなかったわけですが、プラス思考で考えれば今までの事業を見直す時間ができた年でもありました。

写真は2020年2月12日、スターウォーズ愛が溢れる某筆頭副会長が「毎週少しずつ届く部品」で2年間かけて組み立てたR2D2を、正副会議終了後の時間に私のリクエストに応じてお披露目してくれた時のものです。思えばこの頃はまだコロナの影響もここまでとは思わず、『家で“こんな”を組み立てる時間を作って、私も自分の趣味にもう少し時間を割いてリセットしないと、柔軟なアイデアは出てこんな』と思ったのを覚えています。「毎週少しずつ届く部品」には家族の大反対に遭い手を出せていませんが、野望を持ちつつ機会を伺っています。

コロナ禍で公私共に苦労はしながらも、適応しつつ頑張らねばなりません。子育て仲間である市P連のメンバーと明るく趣味の話などもできる時がまた来ると信じて、協力して乗り越えていこうと思います。

広報部副会長 吉浦史貴



## アルコール消毒液スタンド配布

前回の市P連だよりでもお伝えした、学校再開に際してのアルコール消毒液全校配布に続き、学校の玄関等に設置できるようにペダルのついた消毒液スタンド39台を市内全市立小中学校に配布しました。

手でポンプの頭に触れることなく効率的に消毒液を手指に受けることができるので、子ども達の『密』を多少なりとも軽減することができているのではないかと思います。

市P連主催行事の相次ぐ中止に伴い、協議の上、子ども達への還元事業として感染防止対策関連物品の購入、配布に置き代えました。引き続き感染防止に気を緩めずコロナ禍を乗り切れるよう、市P連としてできる事は速やかに行なっていく所存です。会員の皆様のご理解を何卒お願い申し上げます。

